

まるっと1日映画館

3本立て

800円

全席自由

市民プラザ各画座



独立愚連隊

1959年 東宝 主演/佐藤 充



けんかえれじい

1966年 日活 主演/高橋 英樹



東京流れ者

1966年 日活 主演/渡 哲也

10月10日 月

新庄市民プラザ 大ホール

8/21(日)よりチケット発売開始

チケット取扱先 新庄市民プラザ、新庄市民文化会館

①独立愚連隊 10:00～

②けんかえれじい 12:30～

③東京流れ者 14:30～

●休憩所あり

お問い合わせ 新庄市民プラザ 0233-22-4200

●新型コロナウイルス感染予防対策を万全に行い、実施いたします。
●ご入場の際にはマスクの着用をお願いいたします。

第5回 新庄市民フラザ名画座 作品解説

独立愚連隊

1959年 東宝
白黒 シネマスコープ 108分



【出演者】
 従軍記者荒木こと 大久保軍曹
 慰安婦トミ 馬賊 亜東
 大隊長 児玉大尉 軍旗 旗手 丹羽少尉
 馬賊の娘 小梅 独立 小哨兵 長中村
 指揮班 長 酒井曹長 独立 小哨兵 長 石井曹長
 副官 橋本中尉 運転手

【スタッフ】
 脚本・監督 岡本喜八
 撮影 逢沢 謙
 照明 西川 鶴三
 録音 渡会 伸
 音楽 下永 尚
 美術 佐藤 勝
 美術 阿久根 巖

成瀬巳喜男、マキノ雅弘らに師事した岡本喜八は、デビュー作『結婚のすべ』(1958)で斬新な娯楽映画の旗手として注目され、翌年『独立愚連隊』を世に送る。太平洋戦争末期の北支戦線を舞台に、独立愚連隊と称する前線の哨隊で命を絶った弟の死に不審を抱いた元軍曹が、従軍記者に扮して部隊に潜入、事件の背後に潜む上官の不正を暴き出す。シナリオ作家協会賞を受賞した自作の脚本をもとに、西部劇のエッセンスをパロディとして活かしながら、日本映画の伝統には見られない活劇調の戦争映画を作り上げた。終戦時に予備士官学校に籍を置いていた岡本の戦争に対する屈折した思いが、アクション映画の意匠から滲み出てくる。日本人ばなれしたバタ臭い魅力を放つ佐藤允を主役に、中丸忠雄、中谷一郎、ミッキー・カーチスら個性派俳優、鶴田浩二や三船敏郎が各々ユニークな役どころを演じ、痛快な娯楽作を盛り立てている。本作のヒットにより、「独立愚連隊」はシリーズ化され、その後、岡本は大作『日本のいちばん長い日』(1967)を手がけることになる。

けんかえれじい

1966年 日活
白黒 シネマスコープ 86分



【出演者】
 南部 麒六 道子
 カフェーの女給 団長 タクアン 金田 麒六の父
 道子の母 ヨシノ マンモス先生 アヒル先生 近藤大尉

【スタッフ】
 原作 鈴木 隆
 脚本 新藤 兼人
 監督 鈴木 清順
 撮影 萩原 憲治
 照明 熊谷 秀夫
 録音 秋野 能伸
 音楽 山本 直純
 美術 木村 威夫

昭和初期、岡山から会津若松に移り住んだ暴れ者の硬派学生が、喧嘩に明け暮れながらも成長してゆく様子を活写したおらかな青春映画。若き高橋英樹が主人公を熱演しているが、爽快なアクションや乾いたユーモアの中に、ふと恋愛感情を覚えた主人公を通して豊かな叙情性が表現されている。山本直純による硬軟のメリハリが効いた音楽も、主人公の揺れ動く心理を的確に表していると言えるだろう。監督の鈴木清順は、日活時代に低予算、短い撮影期間による娯楽作品の量産体制、いわゆる「プログラム・ピクチャー」の中で独特のシャープな作風を完成させ、解雇後はフリーの脚本や俳優としても幅広く活躍した。ラストシーン近くに、やがて2・26事件で処刑される国家主義者北一輝が登場し、戦争にはなかったこの設定は鈴木監督が発案したものだという。

東京流れ者

1966年 日活
カラー シネマスコープ 82分



【出演者】
 本堂哲也 千春 辰造 相沢健次 田中 睦子 敬一 梅谷 大塚 倉田

【スタッフ】
 原作・脚本 川内 康範
 監督 鈴木 清順
 撮影 峰 重義
 照明 熊谷 秀夫
 録音 秋野 能伸
 音楽 鈴木 創
 美術 木村 威夫

やくざ稼業から足を洗って恋人と結婚する決意をしていた青年が、敵対するヤクザに狙われ各地を転々とするが、ついに堪忍袋の緒が切れる…。前年にレコード発売された「東京流れ者」の作詞を手がけた川内康範が、原作と脚本を担当した歌謡アクション映画。渡世の義理から離れようと旅に生きる主人公を渡哲也が演じ、粹で武骨な、不死鳥の哲、を魅力的に体現した。ドラマの流れよりもシーンごとの色使いや様式性に重きを置いた大胆な鈴木清順監督の演出と美学が遺憾なく発揮され、海外での人気も高い代表作の一本となった。